＜高付加価値型農業の実践を目標としている事例＞

○棚田を守る取り組み

１．集落協定の概要

市町村･協定名	三重県南牟婁郡御浜町大字川瀬（みなみむろぐんみはまちょうおおあざかわせ）　川瀬―１団地			
協定面積	田（７０％）	畑	草地	採草放牧地
１．５ha	水稲	梅・柿		
交付金額	個人配分			５０％
２４．７万円	共同取組活動（５０％）	交付金の積立（災害復旧費）		５０％
				％
				％
協定参加者	農業者　６人			

２．集落マスタープランの概要

・高付加価値型農業を実践し、経営の安定化を図るため、県のエコファーマーの認定を受けて有機農業を実践する面積を５年間で０ａから１４ａまで増やす。

・ 非対象農家と共同で用排水路の整備を行う。

［活　動　内　容］

農業生産活動等

農地の耕作・管理（田1.1ha）（畑0.4ha）
個別対応

水路・作業道の管理
・水路2.9km、年2回 清掃、草刈り
・道路3.0km、年2回 草刈り
共同取組活動

農地法面の定期的な点検（年２回及び随時）
共同取組活動

多面的機能増進活動

堆肥の施肥、アイガモの利用（約0.5ha、年1回）
個別対応

農業生産活動の体制整備

・水路補修・改良（2箇所の漏水箇所の補修）
・鳥獣害防護柵の設置（Ｌ＝２００ｍ）、オリの設置6箇所
共同取組活動

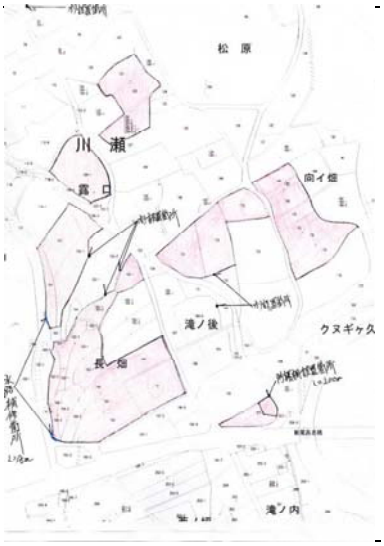
有機栽培米の作付（０．１ha）
個別対応

集落外との連携
○集落内の農家に農作業委託等できない場合には、集落外の農家との連携を図り、農作業委託等の推進を図る

３．取組の経緯及び内容

川瀬１集落は、町内陸部の山間地に位置し、棚田を利用した水稲栽培が行われている。当集落では、鳥獣被害が著しいことから共同で捕獲檻を設置するなど被害防止対策に取り組むとともに、多面的機能増進活動として、農薬・化学肥料の使用量を減らし堆肥による土づくりを行うなど環境に配慮した栽培にも取り組んでいる。また、今後は三重県のエコファーマーの認定を受けて、有機農業を実践する計画である。

○農用地等保全マップ



【マップの解説】
・青い部分は近日中に補修が必要な部分を示しています。
（２箇所）
・赤く塗られている部分は交付対象農地を示しています。

アイガモ農法を実践している田

アイガモによる除草作業

［平成21年度までの取組目標］
○高付加価値型農業の実践
（当初０ａ　　目標14a）
○非対象農家（１名）と連携して、協同で水路清掃及び維持管理。